

立ち読み版

特集

2020年、 独立診断士のリアル

「いつかは独立!」、「いやいや、安定した今の暮らしを捨てられるの?」——と、いつまでも続く自問自答。そんな悩める企業内診断士が多いのは、独立診断士の毎日の仕事を明確にイメージしにくいことが一因だろう。

本特集では、多数の実例取材で独立診断士のリアルな姿に迫りつつ、アンケート調査も交え、独立のメリット・デメリット、独立前後でやっておくべき成功の秘訣を「具体的」、「実践的」に浮き彫りにする。今年度の合格を目指す受験生も必読!

取材・文 **原田 隆治**
2019年5月中小企業診断士登録。
早稲田大学卒業後、出版社に勤務。
妊娠・育児分野を中心に
雑誌事業のプロモーションやアプリ開発、
通販事業等ダイレクトマーケティングに従事。
自身の独立開業も鋭意検討中。



- 第 1 章 **2020年版アンケート調査から見る
独立のメリット・デメリット**
- 第 2 章 **毎日、何をやっているの?
独立診断士の1週間に密着!**
- 第 3 章 **独立に向けて今何をする?
独立までに「やっておくこと」リスト**
- コラム **しくじり診断士「俺みたいになるな!」**
- 第 4 章 **独立したら何をするもの?
独立直後「やること」リスト**

2020年、
独立診断士のリアル

第 1 章
**2020年版アンケート調査から見る
独立のメリット・デメリット**

原田 隆治
中小企業診断士

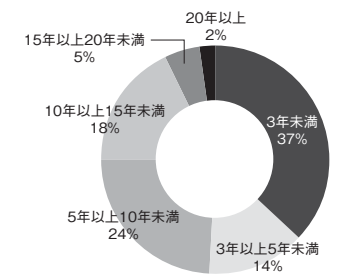
診断士資格取得後、独立せず企業内に留まる人は全体の70%と言われている。資格取得の目的が、独立以外というケースも一定数あると思われる。ただ、独立を夢見ているものの、独立後のビジョンがなかなか見えず、踏み切れない企業内診断士も多いのではないだろうか。また、診断士試験の受験生の中にも、早期の独立を励みに日々、学習に取り組んでいる人も少なくないだろう。

本稿では、独立診断士を対象に行ったアンケート調査の結果を分析し、独立のメリット・デメリット、満足度などの実態に迫りたい。

アンケート調査は令和2年1~2月にネット上で行い、有効回答数は66件だった。回答者の属性は図表1、2のとおりである。参考値ではあるが、中央値を加重平均して算出した平均年齢は49.4歳、

同じく独立後の平均年数は6.6年となった。

図表2 回答者の独立後年数

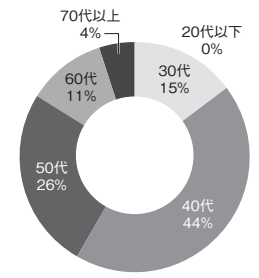


1 独立のメリット・デメリット

(1) 独立して良かったと感じること

図表3に集計をまとめた。最も多かった回答が「仕事が楽になった」で、71%に達した。以下、「プライベートの融通が利くようになった」、「ストレスが減った」が各64%、「収入が増えた」が62%、「知識やノウハウが増えた」が61%と続く。仕事のやりがいが増し、ワーク・ライフ・バランスも取れている充実した独立診断士の姿が想像できる。また、「知識やノウハウが増えた」、「知人や仲間が増えた」が高いのも診断士らしい特徴と言える。

図表1 回答者の年代



続きは雑誌で